社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会

輝いて明日へ

法人理念

誰にも優しい
地域社会をつくります

２０２４．７．２６

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事長　田部井 眞

現在、当法人のサービス利用契約者数は５１４名です。ほぼ市内全域に点在しています。市内にある当法人の事業所では、必ずしも近隣にご利用者がいるわけではありません。そのような状況で各事業所が地域の中に溶け込んで活動を継続していくためには、事業所から地域に向けて積極的な取組がなくては、地域から知られた存在にはなりえないと思います。

例えば、イベントを開催し近隣の方に事業所へ足を運んでいただき活動を知ってもらう取り組み。または、事業所の近隣のお宅へ活動の様子を定期的に配布する。ご利用者の活動として取り入れても良いですね。ご利用者が地域に出ていき知ってもらう機会にもなります。

花の家クッカ広場では以前のカフェスペースの活用として近隣の農家の方の生産品の常設販売所として野菜の販売を開始しました。地域の農家の方との交流やお野菜目当てのお客様との新たな触れ合いなどが期待できます。３年目になる忠生地区で開始した買い物バスの取組みも好評を得て法人、花の家を知っていただく機会になり、地域での新たな役割を果たしています。これは、法人事業所が有している資源を地域のために活用する事例です。

さらに、花の家がある図師、下小山田町地区で、小山田高齢者支援センター、ぐうし館、室内プール、花の家と近隣町内会自治会を含めボッチャ大会を開催すべく検討を重ねています。この取り組みは法人間連携に加え、地域と顔の見える関係づくりをスタートさせる取り組みです。災害時の協力体制に繋がったり、地域の方の障がい理解促進につながることを期待しています。

様々な取組を工夫し地域社会に事業所の存在及び活動を理解していただき、障がい福祉サービスの提供だけではなく新たな地域での役割を果たすことが強く求められ、それに真摯に取り組んでいくことが地域での理解につながっていくと思います。

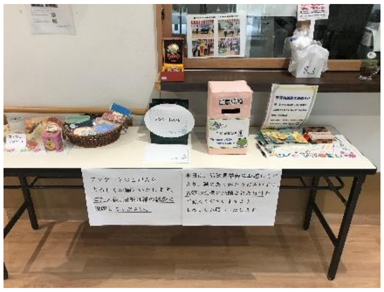
ご利用者が通勤途中で、近隣の皆様にご迷惑をおかけすることもあります。ご利用者に寄り添う支援をするとともに、地域の方のご理解ご協力により、誰もが住みやすい社会になるように努力してまいりたいと思います。

引き続き各事業所の活動にご理解ご協力をお願いいたします。

「２年目を迎えた活動見学会～不適切支援撲滅の為の取組み」

昨年度発生した不適切な事例への再発防止策の一環で始めた活動見学会を今年も継続して実施しました。この文章を書いている時はまだ期間中なので統計は取れていませんが、途中時点で既に昨年度を上回る数の保護者にお越しいただき、ご意見も多数寄せられました。

全国の福祉施設において近年頻発している不適切支援や虐待事例への対策として防犯カメラの設置も取り沙汰されていますが、当法人事業所でもグループホームでは既に一部導入されており、通所施設や児童施設でも設置に向けた検討を進めているところです。



防犯カメラについてはプライバシー保護の問題と並行して考えねばならず慎重な議論が必要だと思いますが、上述した保護者等による活動見学会や地域住民等に広く事業所運営に参画していただくこと、虐待防止研修等の充実等、あらゆる手段を用いて起きてはならない虐待や不適切支援の撲滅に努めてまいりたいと思います。　（畠山　史郎）

「健康診断」

今年度も鶴川記念病院様による出張健康診断を行い、花の家からは５５名が受診、クッカ広場からは２２名のご利用者が受診されました。

近年、花の家での健診をご利用される方が多くなりすぎたこともあり、今年度は主治医のない方等を中心にご案内しましたが、セカンドオピニオンとして結果を参照されたい方もいらっしゃるようで例年とあまり変わらぬ数のご利用者が受診される結果となりました。

鶴川記念病院様とのお付き合いは既に１０年近くになりますが、毎年のようにやり方が見直され、よりスムーズに進行するように変わってきています。スタッフも精鋭ぞろいで、医師の他、レントゲン技師や看護師が１０名程度来所され、皆様ご利用者に対し配慮のある対応をしてくださいます。おかげで医療関係者に対して不安や拒否感の強いご利用者も、毎回安心して受診できています。　（大倉　未来子）

「花の家花壇（ガーデン）進行中」

花の家では職員出入り口にある植栽スペースの土の中に砂利が多く含まれていた為に当初の植栽が一部枯れてしまいました。雑草が伸びて、そのままでは植物が育つ状態ではなかった為、この度、ガーデンジョイントウェーブやプランターを使った花壇にＤＩＹ（Do It Your-self）することにしました。

町田市剪定枝資源化センターの剪定枝たい肥(土壌改良剤)を使い、新たな土作り生チップと陶芸の素焼き廃材、木工廃材で周辺を飾り付ける計画をしています。

宿根草をメインに多年草、一年草を植栽して、先ずは敷地の３分の２を作り、秋からはご利用者の新たな活動場所になるように進めていきます。　（鈴木　浩子）

就労継続支援Ｂ型　クッカ広場

＜新装開店＞

７月に入り暑い日が続いています。クッカ広場では、こまめな水分補給と適度な休憩をしながら、熱中症や感染症に気をつけつつ作業を行っています。

５月末には毎年恒例の小山田花壇の植付けを行い、６月初旬は「しょうぶ・あじさいまつり」にも参加しました。また、６月からは近隣農家さんの協力を得て、地元野菜の販売を行う「ベジハブ」企画を試行でスタート！小山田地産の野菜をぜひご賞味ください。

６月下旬にはリサイクル品の半額セールを行い、セール後には全商品の入れ替えも行いました。「これはここに置こうか、こっちの方がいいかな？」など意見を出し合いながら、ご利用者と職員一丸となってお店作りを行っています。ご利用者の皆さんとの作業は気付き発見の毎日です！ぜひクッカ広場に足をお運びただき、日々の作業の成果をごらんください。　（熊上　紗代）

＜ポイント２倍デー！＞

クッカ広場では、４月より毎週水曜日にポイント２倍デーを始めました。
通常では 500 円で 1 ポイントですが、水曜日は対象商品 1000 円以上お買い上げいただくとポイントが２倍となります。「まとめ買いをすると、思いのほかポイントが早くたまるので良かった。」とのお客様の声もいただいています。

ポイントがたくさんたまるポイント２倍デーに加え、これからも様々な企画を行っていこうと思います。クッカ広場ご利用者、職員一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。　（加藤　一美）

＜「まちだベジハブ」って？＞

町田市では、農地は都市にあるべきものと位置づけ、都市農地の保全・活用を進めています。その中でも、「農がそこにある暮らし」をコンセプトに、市民をはじめ農業者や農に関心ある事業者など、さまざまな主体が農でつながる取組を「まちだベジハブ」と題しています。「ベジ」はベジタブル（野菜）、「ハブ」は（HUB：車輪の軸）を意味し、身近な農地や野菜を中心として、主体となる「ヒト・コト・場所」がつながり合い、農とふれあう機会の創出や持続可能な営農の環境づくりを目指しています。

クッカ広場では、旧カフェスペースを利用して「まちだベジハブ」に取り組むことで地元野菜の販売を行うこととなりました。地元、小山田産の新鮮で、多種多様な珍しい野菜を直売します！

ぜひ地元野菜を通じて、「まちだの農」を感じていただければと思います。
（大谷　京子）

ボランティア活動

５月31日金曜日に、花の郷にてフラダンスのボランティアの方々にお越しいただきご利用者へフラダンス披露のボランティア活動を行いました。
ハワイアンでトロピカルな音楽に合わせ、まさしくその場の空気はハワイそのもの！
素敵なフラダンスを披露して頂き、ご利用者も大変楽しまれておりました。
後半はご利用者がよくご存じの曲「さんぽ」に乗せ、またご利用者にも参加頂き皆さんで踊り歌い、大変盛り上がり楽しい時間を過ごしました。
　さて、今年の花の郷は、ボランティア活動を例年以上に盛んに取り入れご利用者が笑顔に、また支えになる活動に力を入れていきたいと思っております。　（白澤　大樹）

職員挨拶

花の家から花の郷のＡグループへ異動しました、齋藤智春（さいとう　ちはる）と申します。
よろしくお願いいたします。
好きなことは滝を見る事です。私のお気に入りは奥多摩の海沢園地です。３つの滝を見る事ができ、滝つぼに飛び込む事も出来ます。あまり整備されていない道なので大変ですが、最奥の大滝は滝からの風も強く圧巻です。子どもが生まれてからはまだ見に行けていませんが、もう少し大きくなったらまた行こうと思っています。
　少しずつにはなりますが、花の郷のみなさんと良い関係を築いていきたいと思います。まだまだ不慣れな事が多くありますが、皆さんが安全で、楽しく通えるよう頑張ります。

６月より勤務させていただいている山下佳奈（やました　かな）と申します。
以前は知的障がいのある方の入所施設で勤務しておりました。前職とは全く違った支援の様子に大変驚くと共に、毎日様々な事を学ばせていただいています。ご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、ご利用者様の生活のため精一杯努めてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

就労継続支援Ｂ型／生活介護
ボワ・アルモニー

調理レクを行いました

６月１８日（火）生活介護のレクとして、調理のレクリエーションを行いました。エプロンと三角巾を付けてやる気十分！「生地から手作りしたいけど、あまり時間がない…！」そこで今回は、生地を発酵させずにすぐに焼くことのできる簡単でおいしいピザ作りにチャレンジしました♥

作った生地をホットプレートで片面を焼き、裏返した生地にトマトソースを広げました。具はお好みで「たまねぎは入れたくないです！」「ウインナーをたくさん入れます♪」など各自好きな具をのせ、蓋をして２～３分蒸し焼きにして完成しました👏👏👏

給食でもお誕生会の豪華なメニュー＆デザートを食べた後でしたが、とっても美味しくできたピザに皆さん夢中。給食では、小食のご利用者も嬉しそうにお替わりをしていました。（宮城　真理亜）

６月「食育月間」&６月４日「虫歯予防の日」

毎年６月は「食育月間」、また６月４日は「虫歯予防の日」でした。

アルモニーでも食育に関する取り組みと、ブラッシング指導を実施しました。

さまざまな食に関する知識を深めてもらいながら健全な食生活へと導くことを目的に、アルモニーでも食育の取り組みに力を入れています。

今年のテーマは『ゆっくり食べるといいことあるよ』咀嚼機能のある方でも噛む回数が十分でないまま飲み込んでしまうなど、日頃から気に掛けていながらも、まだ多くの方が早食い傾向にあります。配膳したと思ったらあっという間に下膳になってしまう方もいます。そこで歯そのものを見直しつつ、栄養士と看護師でランチタイムを利用して　“噛むことの大切さ”を「ひ・み・こ・の・は・が・いい・ぜ」に合わせて８回に分けてお話しました。噛むことって食事に関することだけでなく、体や言葉・脳の発達、がんの予防など‥とっても大切なのです。「卑弥呼の歯がいいぜ」気になる方は検索してみてくださいね！

（宮城　真理亜）

６月４～１０日は「歯の衛生週間」として“口内の衛生と健康”を意識してもらう１週間でした。『町田障がい者歯科』の歯科衛生士さんによる「ブラッシング指導」で、歯の磨き方を丁寧に確認しました。

歯をピンクに染めて汚れをチェックし、その後ご本人にいつものように歯磨きをしていただきました。一人ひとりに合った歯磨きの方法を、歯科衛生士さんが優しく丁寧に指導して下さいました。結果をご家庭にお知らせし、歯磨きの協力をしていただくとともに、当施設でも、今後の歯磨きの仕上げに活かしていきたいと思います。

（岡田　幾子）

児童支援部

ボワ・コンサール

　春から季節は変わり、あっという間に７月になりました。大雨が降ったり、夏のような暑い日がありますが、コンサールに来ている子たちはとても元気に過ごしています。
　晴れた日に公園に行ってブランコや滑り台などの遊具遊びを楽しんでいます。室内では好きな玩具でじっくり遊んでいて、先日、おはじきを使ってカーリングのようなゲームを考えて遊ぶ子もいました。
　また、コンサールでは毎週工作があります。季節に合わせたものや子ども達の好きなものをヒントにして工作を考えています。サルが鉄棒をしている工作は好評で、完成するとクルクル回していました。完成を喜んだり、工作したものを楽しそうに動かす姿はとても微笑ましいです。
　もうすぐ子ども達が楽しみにしている夏休みです。コンサールではブルーベリー摘みやカレー作りなどのイベントを計画しています。今年も暑い夏になりそうですが、熱中症に気を付けながら、暑さに負けず、子ども達と楽しい夏の思い出を沢山作っていきたいと思います。
（渡邉千春）

ボワ・エール

新年度が始まり、早いものでもう７月。児童たちにとっては待ちに待った夏休みが始まる季節になりました。今年は遅めの梅雨から一気に真夏に突入したような天候でしたが、皆様体調はいかがでしょうか。
　ボワ・エールでは年間に数回のクッキングを予定しています。５月と６月にはそれぞれ「フレンチトースト」と「やきそば」を作りました。児童の皆さんは予定もしっかりと把握していて、「今週はクッキングです！」「たのしみだなぁ～♪」と毎度楽しみにしてくれています。
　クッキングでは児童の皆さんに包丁で食材を切ってもらったり、ホットプレートで具材を炒めたりしてもらいます。苦手な所は職員と一緒に、出来るところは極力一人で行い、主体的に活動を行います。出来上がったものは必要に応じて形態食への加工も行っています。自分で作った料理は美味しいようで、たくさん作っても毎回ほぼ全て食べきってしまいます。
　７月下旬からはいよいよ夏休みが始まります。子どもたちにとっての貴重な夏休みを、みんなで一緒に楽しい思い出でいっぱいにしていきましょう！
（上田哲明）

居住支援　グループホーム

暑いっあつい～と異常気象を言葉にしてもおさまらない事はわかっているけど、そんな挨拶から始まる日が続いています。「お茶飲んでください！」と観察力が鋭いご利用者からの声かけで「ありがと！」と気持ちも身体もクールダウンできています。花火やスイカ！暑い夏を楽しく、上手に乗りきりましょう。

今回は職員紹介第２弾です。

小川すみ子職員（あかねの夕食）

自己紹介

パートの小川です。山登りが大好きな私でしたが、今は体の不調によりお休み中…そんな時縁あって入職し、おかげさまで６月に３年目を迎えることができました。ただ食事を作るだけでなく、ご利用者の個性や食形態に始まり、コミュニケーションをとれるようになるまで毎日覚えることが多くて大変でした。今ではこの経験ができた事、仕事ができる事をご利用者、スタッフの皆様に感謝しています。この先も元気で仕事を頑張りたいと思います。

みんなからの声

【差し入れ果物でサッとデザートを提供して下さりご利用者から「おいし～」の声をたくさんもらっています！キッチンに居るだけで安心感があり、職員のこころのより所にもなっている様子がほっこりします。これからも美味しいごはんをお願いします。】

長谷川理佳奈職員（あかね夜勤）

自己紹介

昨年 12 月に入職しました長谷川です。精神障がい者のグループホームに勤務していますがこの度あかねで身体介助に従事させて頂いています。ご利用者の想いに添って動けているのか不安な事が多々ありますが、スムーズに出来た時や、思いが伝わった時はすごく嬉しく感じました。
ご利用者に安心して頂ける存在になれるよう進化したいと思っています。
趣味：音楽を聴く　イベントに行く　ONE PIECE の単行本全巻ひたすら読む
　　　息子３人と断られるまでお出かけする！

みんなからの声

【とても若々しく、話題豊富な長谷川さんです。ご利用との会話・コミュニケーションには笑顔が溢れています。今年度も一緒に楽しんでいきましょう。】

ここに紹介しきれない程、新メンバーが増え毎日が新鮮で変化のある居住支援部。不本意に仲間を失うことがない様に…。20 代から 70 代全員の感性と知恵を持って、意味のある涙と笑顔で過ごしていきたいと思います。

（柿崎　裕子）

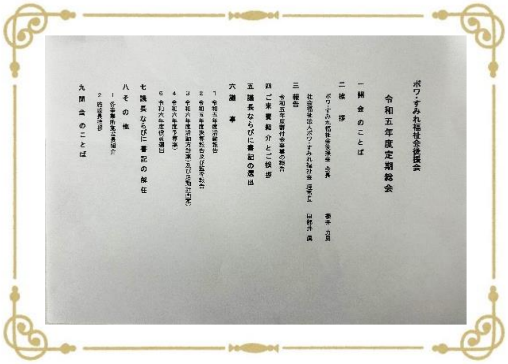
ボワ・すみれ福祉会後援会

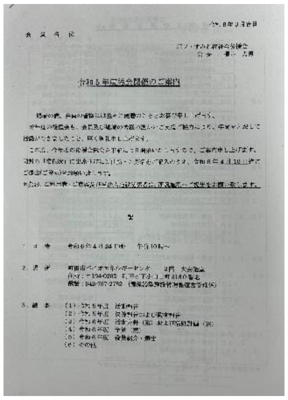
会員を募集しております

定期総会が開催されました

令和６年４月２４日（水）、バイオエネルギーセンターにて、令和５年度定期総会が開催され、議事全て賛成多数で可決承認されました。

　またご来賓の皆様から温かい祝辞をいただき、出席者の皆様に寄付事業のスライドも見ていただきました。定期総会は、コロナ禍による２年の書面投票を経て、昨年から場所を駐車場のあるバイオエネルギーセンターに移して開催されています。次回総会には会員の皆様多数ご参加をお願いします。


ボワ・すみれ福祉会後援会
令和五年度定期総会
一 開会のことば
二 挨拶
三 報告
令和五年度寄付金事業の報告
四 ご来賓紹介とご挨拶
五 議長ならびに書記の選出
六 議事
1 令和五年度活動報告
2 令和五年度決算報告及び監査報告
3 令和六年度活動方針案及び活動計画案
4 令和六年度予算案
七 議長ならびに書記の解任
八 その他
九 閉会のことば



そうめん販売　好評のうちに終了しました

今年もたくさんのご協力をいただき、好評のうちに終了しました。

純利益２７３，９２０円は、ご利用者のみなさんのために大切に使わせていただきます。

季節販売は、昨年度から品物を受け取りに来ていただかなくても、送迎車に乗せるなどして品物をお渡しできるようになりました。

１１月にはうどん、ちゃんぽんの販売もありますので、こちらもぜひご利用ください。

（後援会　事務局）

編集後記

　梅雨も明け、夏本番！！オリンピックも始まり、寝不足気味になりそうな予感・・・

体調管理に気を付けながら、オリンピック観戦を楽しみたいと思います♪♪

皆様も、暑い日々が続きますので熱中症等に気を付け、夏を乗り切りましょう！

発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会　理事長　田部井 眞
BOWA SUMIRE
東京都町田市下小山田町 3267-2
TEL：042-797-6044(代) / FAX：042-797-4824
E-mail：hananoie@poem.ocn.ne.jp
https://bowasumire.jp/